



藤岡 緑 議員



ワークショップの現場で・・・
「まさき いいところ見つけ隊」



町の活性化策に町民と協働の観光事業は

新たな観光資源開発など住民主体の活動に支援をする

問

町の活性化に向けた取り組みを観光資源につなげれば、住民自らも松前の魅力を再発見できる機会となる。

町民との協働による観光事業など実践的なまちづくりの考えは。

町長

28年度は町民主体の新たな観光資源の開発を検討する会「松前のいいところ見つけ隊」の活動を支援してきた。幅広い年齢層から10種類の町内周遊ルートの提案があり、これらを磨き上げ醸成していく。

昨秋には町内初のボランティアアガイドグループが誕生し、町の観光のための活動に期待している。

今後は、町民と行政がそれぞれの責任と役割を分担し連携、補完し協働のまちづくりを推進する。観光協会の足がかりになればと考える。

若者定住と町の活性化に向けて

様々な取組みを積み重ねて人の流れを作る

問

「若者の移住定住促進」は、町の活性化につながる。

地元就職してくれる若者をどう増やし、その生活支援策について町の考えを伺う。

町長

若者の故郷への愛着や誇りの醸成は、県の行う地元企業への就職活動の支援に協力して情報発信をして地元回帰の方向へ導きたい。29年度から特色ある小、中学校づくり

で、故郷に愛着が持てる子どもが育ち、将来的に本町への定着や回帰に繋がることに期待している。経済的支援はないが、新しい人の流れを作っていく。